

環境産業約86兆円

廃棄物分野が5割占める

2012年の国内環境産業市場は約86兆円（前年比4・8%増）と推計、そのうち、廃棄物処理・資源有効利用分野が約43兆円と5割を占めることが4月11日、環境省の調べで分かった。また、動脈産業の廃棄物受け入れは鉄鋼業、セメント製造業、紙製造業、ガラス容器製造業合計で6兆2400億円となった。廃棄物処理リサイクル事業が国内の環境産業をリードしている実情が明らかになった。

調査方法は、統計資料や各業界団体へのヒアリングなどを数多く実施、推計結果としてまとめている。全体として、リーマンショックなどの影響で09年に減少したが、その後増加、ここ10年おおむね増加傾向にあるとみている。

環境産業の分類は廃棄物処理・資源有効利用の他、環境汚染防止、地球温暖化対策、自然

場合、収集・運搬費865億円、同委託費42802億円、中間処理費2719億円、同委託費2988億円、最終処分費347億円、同委託費427億円としている。

リサイクル関連では、容器包装の再商品化396億円、廃家電リサイクル（冷蔵庫）185億円、廃家電リサイクル（洗濯機）125億円、廃家電リサイクル（テレビ）107億円、廃家電リサイクル（エアコン）73億円、廃自動車リサイクル314億円、廃パソコンリサイクル27億円となっている。

廃棄物管理システム12億円、最終処分場遮水シート59億円、生ごみ処理装置27億円、R

PF製造装置12億円、都市ごみ処理装置2103億円、事業系廃棄物処理装置424億円、ごみ処理装置関連機器666億円、処分場建設517億円、焼却炉解体447億円、リサイクルプラザ241億円となっている。

料化2631億円、RPF41億円、パルプモールド133億円、石炭灰リサイクル製品7億円、再生砕石175億円、レアメタルリサイクル1366億円。

動脈産業の廃棄物受け入れ6兆2400億円

リサイクル素材の項目では、廃プラスチック製品製造業1012億円、更生タイヤ製造業149億円、再生ゴム製造業42億円、鉄スクラップ加工処理業7204億円、非鉄金属第二次精錬・精製業1兆1315億円、PETボトル再生繊維178億円、生ごみ肥料化・飼

動脈産業での廃棄物の受け入れは、鉄鋼業4兆2315億円、セメント製造業1629億円、紙製造業1兆7478億円、ガラス容器製造業978億円となっている。